

学校 ニュース

清滝小 全国大会でみごと入賞

統計グラフコンクール

ことしの統計グラフ全国コンクールで、清滝小六年生「意外と少ない親子の会話」と所野小五年生「こんな先生、いい先生」が見事入選。また、所野小一年生「おかあさんのつうしんぼ」が佳作に選ばれました。全国大会で、日光からの作品が三点も入賞したのは、はじめての快挙です。

入選者の表彰式は、十一月六日、栃木会館で開かれた「栃木県統計大会」の席上で行われました。全国大会に入選した作品は、次のとおりです。(敬称略)

◎小学校高学年の部

▼入選四席「意外と少ない親子の会話」川島猛、山口知久、安永美希、星野香代子、手塚智美、小室清美(清滝小六年)

六年生百人の「生活環境調査」を行い、それをもとにグラフにしたものです。

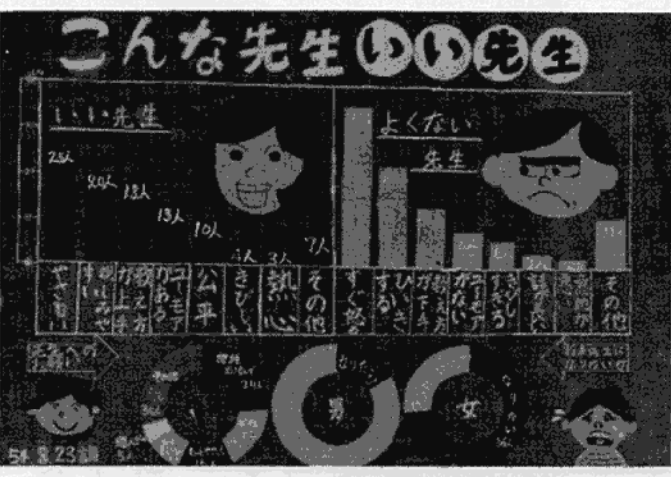
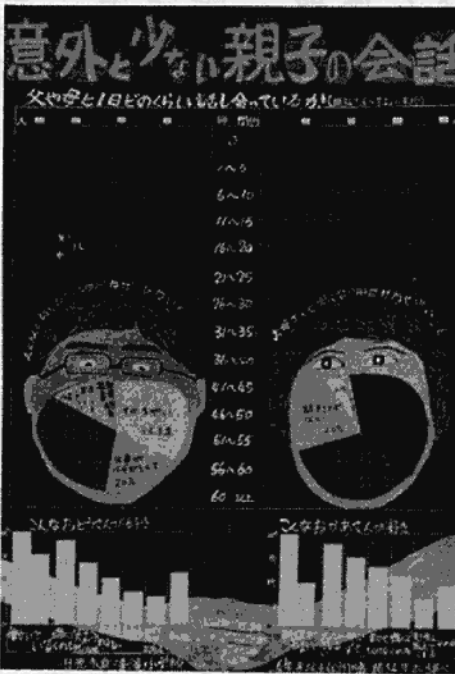
一日のうち父と話さない子が十八人、母と話さない子が九人もいることがわかりました。一日の会話は普通五分から十分が多いようです。どうして会話ができないかでは、父の場合、すれちがい、仕事、テレビを見ていての順母の場合、話しを聞いてくれない、仕事

が忙がしいなどです。どんな親が好きかでは、父の場合、一生懸命働いてくれる人、母の場合、料理の上手な人をあげています。

▼入選五席「こんな先生、いい先生」大塚千保、北山陽子、村山寛美(所野小五年)

五年生五十人のアンケートをグラフにしたものです。いい先生では、やさしい先生、ひいきをしない先生が上位を占め、よくない先生では、きびしい先生、ひいきをする先生の順です。先生へのお願いで、宿題を出さない

入選五席の作品▼と
入選四席の作品▼



で、宿題を出して、もつとやさしくしてなっています。

◎小学校低学年の部

▼佳作「おかあさんのつうしんぼ」大塚奈穂、村上ルリ子、高瀬礼子、河崎ルミ子(所野小一年)

子供たちから見たお母さんをグラフにしたもので、いいお母さんは、勉強を見てくれる。直してほしい点は、おこりっぽい、約束を守らないなどをあげています。

防犯市民総ぐるみ運動

12月11日(火)～1月10日(木)

十二月は一年のうちで最も交通事故の多い月です。特に年末は、ドライバードライバーも歩行者も気分的になにかとあわただしくなります。気ぜわしさとイライラが高じ、スピードの出し過ぎ、無理な追い越しなどの違反運転が目立つようになります。なかでも、この時期に増えるのが飲酒運転による事故です。

飲酒運転をなくそう

県内で発生した交通事故は、十月末現在で七、一〇五件、昨年同期に比べ一九四件減っています。日光市では、すでに一二八件と昨年の総件数一一〇件を早くも上回っています。死亡者においても二人の増加を見るとい、事故多発の傾向です。

飲酒運転による事故は、県内で二〇九件、死亡者十三人で、まだまだ飲酒運転が後を断ちません。これからは、年末年始をむかえ飲酒の機会が多くなるので、次のことを厳守しみんなで飲酒運転を追放しましょう。

◎家庭では、「運転するなら酒を飲まない、酒を飲んだら運転しない、運転する者には酒をすすめない、酒を飲んだ者に運転させない」の「四ない運動」を家族ぐるみで行う。

◎職場では、雇主や安全運転管理者などの責任者が、従業員に忘年会や新年会などの酒宴の機会に、飲酒運転をしないよう徹底する。

◎酒類提供者は、車を運転するお客には酒を飲ませない。